

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。  
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。  
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。  
あらかじめご了承ください。

1700

取扱説明書

1700

G-SHOCK

このたびは弊社製品をお買い上げくださり誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。  
時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行っても、製品に障害を与えることはありません。  
この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにもご納得のゆくまでお試しください。

# 安全上のご注意

## 絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

### ⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

### ⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

### ⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)



○記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

### ⚠ 警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。  
※本機はダイバーズウォッチではありません。  
誤って使用すると、事故の原因となります。



### 電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

### ⚠ 注意

#### かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③ 体調不良等

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。

● 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

● 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

#### お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

#### 分解しないでください

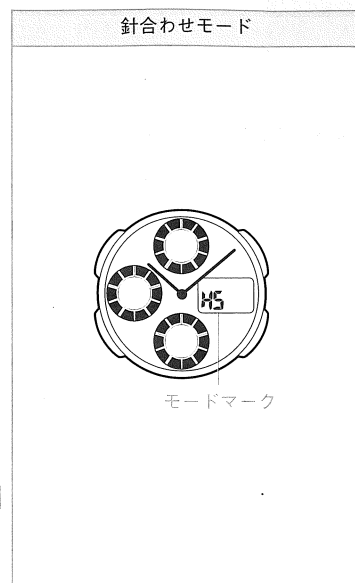
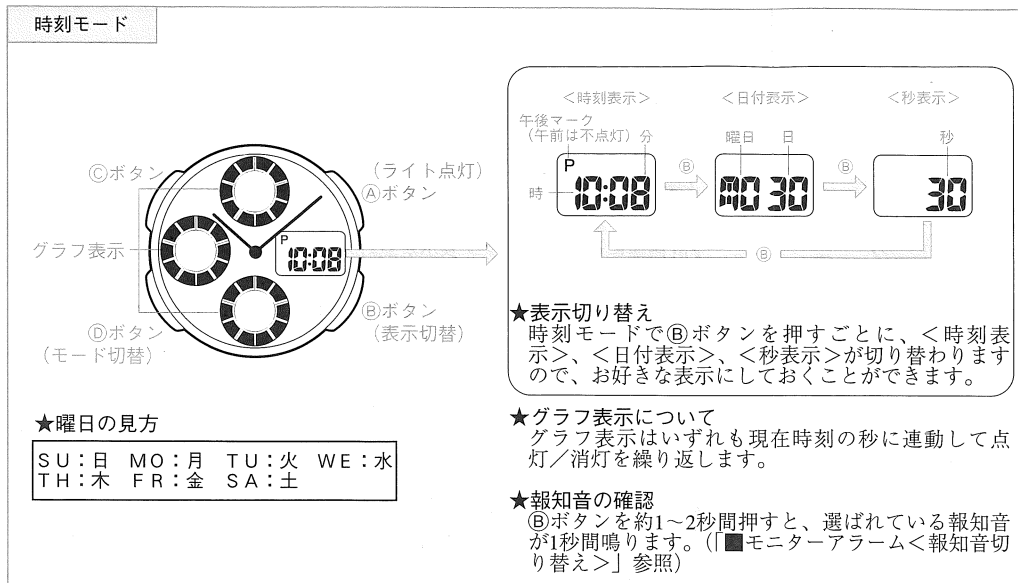
本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



## 操作のしくみと表示の見方

⑩ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

※各モードで何らかのボタン操作（ライト点灯は除く）を行なった後に⑩ボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。  
※各モードのまま1～2分すると時刻モードに戻ります。（ストップウォッチモードおよびタイマー計測中は除く）



## 表示照明用ELバックライトについて

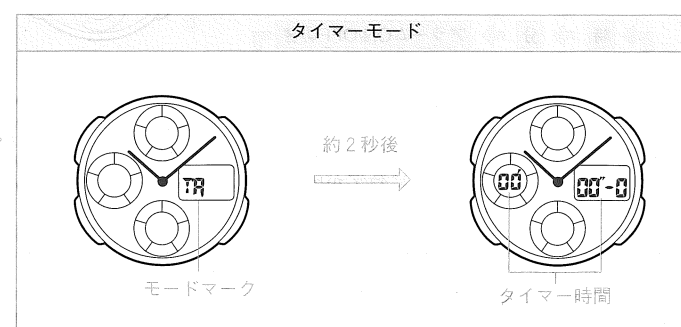
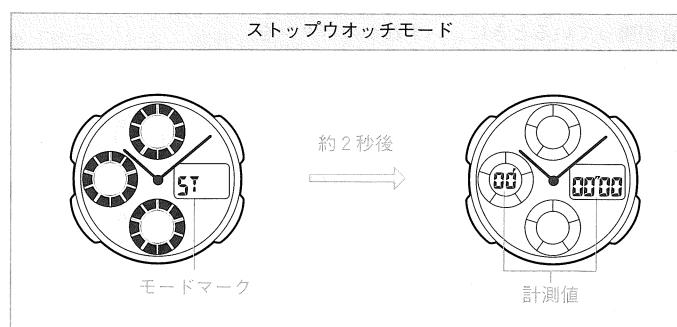
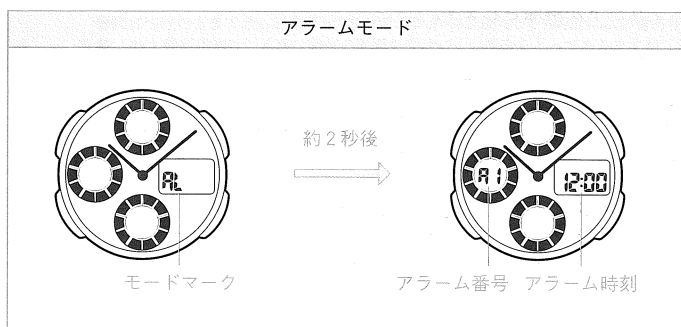
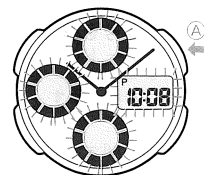
どのモードのときでも、④ボタンを1回押すとデジタル部が約2秒間発光します。

→暗いところでも、デジタル部の表示を見ることができます。

※デジタル部発光中に④ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。ただし、④ボタンを20秒以上押し続けると、自動的にライトが消えます。

### ＜ELバックライトの発光に関するご注意＞

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中でもアナログ（針）部の表示は見えにくくなります。
- 発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。



## デジタル部の時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていないときは以下の方法で合わせてください。なお、月に1度くらい秒合わせをすると時刻はいつも正確です。

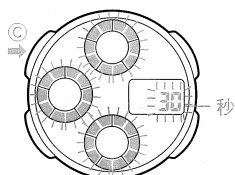
### ■時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻モードのとき、

③ボタンを約1～2秒間押します

→「秒」が点滅します。  
※グラフ部も同時に点滅します。

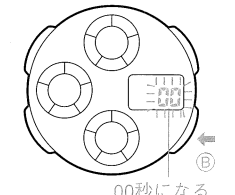
(以下、アナログ部省略)



●「秒」合わせ…±30秒以内の遅れ/進みの調整  
「秒」が点滅しているとき、

時報に合わせて、⑩ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。

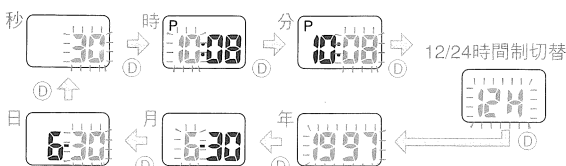
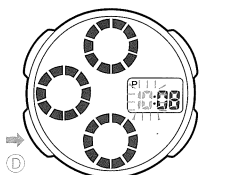


秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。  
※時報は「時報サービス117番」が便利です。

●「時刻・カレンダー」合わせ

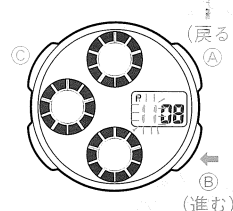
a. ⑩ボタンを押します

→⑩ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、⑩ボタンを押してセットしたい箇所を選びます。



b. ⑧または④ボタンを押します

→⑧ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、④ボタンを押すごとに数字が戻ります。  
※⑧・④ボタンとも押し続けると早く進みます。



上記a、bの操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。  
※「12/24時間制切替」表示のときは、⑩ボタンを押すごとに12時間制（12H）と24時間制（24H）が切り替わります。

★「時」のセットのとき午前/午後（P）にご注意ください。  
★年は1995～2039年までセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーは、うるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(2) セットが終わりましたら、③ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。  
※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。  
※デジタル部の時刻を修正すると、アナログ部の分針が、修正した分だけ自動的に時計回りに進みます。（針は逆方向には進みません）

## アナログ（針）部の合わせ方

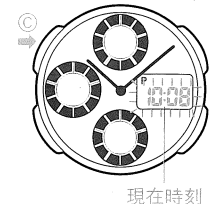
時刻モードのときに⑩ボタンを4回押すと、針合わせモードになります。

電池交換後などで、アナログ時刻がデジタル時刻とずれているときは、以下の手順でアナログ時刻を合わせてください。

(1) 針合わせモードのとき、

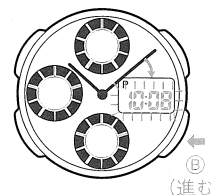
③ボタンを約1～2秒間押します

→デジタル部の現在時刻が点滅します。



(2) ⑧ボタンを押します

→分針が時計回りに進みますので、デジタル部の時刻と同じ時刻を表示させます。  
※押し続けると早く進みます。（針は逆方向には進みません）



(3) セットが終わりましたら、

③ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。  
※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。

●自動復帰…針合わせモードのまま、1～2分間ボタン操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

## アラーム・時報の使い方

時刻モードのときに⑩ボタンを1回押すと、アラームモードになります。

アラームは3つあり、分単位でセットできます。セットした時刻になると20秒間の電子音が鳴ります。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

### ■アラーム時刻のセット／アラームのON/OFF設定

- (1) アラーム番号を選ぶ  
アラームモードのとき、

⑧ボタンを押します

→⑧ボタンを押すごとに「アラーム1→2→3→時報→アラーム1…」の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。

※3つのアラームはいずれも同じ使い方です。

- (2) ⑨ボタンを約1～2秒間押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。

※“”マークが点灯し、自動的にアラームONとなります。

- (3) ⑩ボタンを押します

→⑩ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、⑩ボタンを押してセットしたい箇所を選びます。



- (4) ⑧または⑨ボタンを押します

→⑧ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、⑨ボタンを押すごとに数字が戻ります。  
※⑧・⑨ボタンとも押し続けると早く進みます。

上記(3)、(4)の操作を繰り返して、「アラーム時刻」を合わせます。  
※「アラームON/OFF切替」表示のときは、⑧ボタンを押すごとにアラームON/OFFが切り替わります。(ONのときは“”マークが点滅します)

★「時」のセットのとき午前／午後(P)にご注意ください。

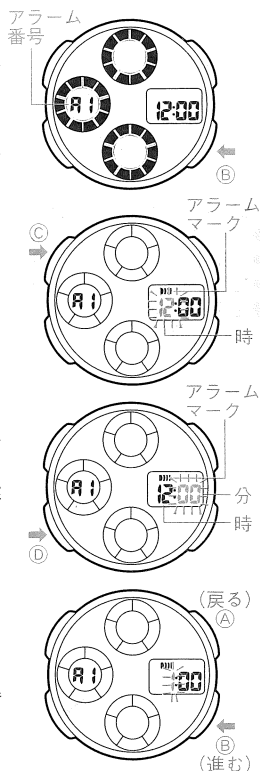
★基本時刻が24時間制のときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。

- (5) セットが終わりましたら、⑨ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。

(以下、アナログ部省略)



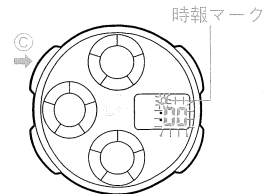
### ■時報のON/OFF設定

準備：アラームモードのとき、⑩ボタンを押して時報表示にします。

- (1) ⑨ボタンを約1～2秒間押します

→時報ON/OFF設定表示(点滅表示)となります。

※“”マークが点滅し、自動的に時報ONとなります。

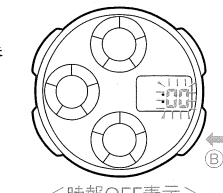


<時報ON表示>

- (2) ⑧ボタンを押します

→⑧ボタンを押すごとに時報ON/OFFが切り替わります。

※“”マークが点灯していないと時報OFFとなります。



<時報OFF表示>

- (3) セットが終わりましたら、⑨ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

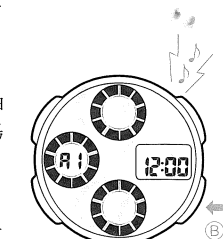
※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。

### ■鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

### ■モニターアラーム

アラームモードのとき、⑧ボタンを約1～2秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。



### <報知音切り替え>

⑧ボタンを約1～2秒間押し続けるごとに、アラーム音が切り替わります(4種類)ので、好きな音色を選ぶことができます。

※時報報知およびタイマーのタイムアップ音もここで選んだ音色で鳴ります。

※時刻モードのとき、⑨ボタンを約1～2秒間押すと、選ばれている報知音が1秒間鳴りますので報知音を確認することができます。

●自動復帰…アラームモードのまま、1～2分間ボタン操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

## タイマーの使い方

時刻モードのときに⑩ボタンを3回押すと、タイマーモードになります。

タイマーは、1秒単位で最大60分までセットできます。残り時間が0になると10秒間電子音が鳴りタイムアップを知らせます。

### ■タイマーの使い方

タイマーモードのとき、

⑧ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

→減算計測は1/10秒単位で行ないます。

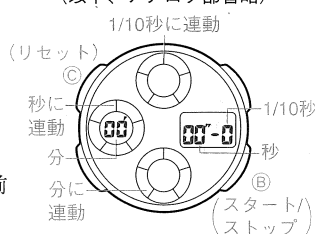
★計測ストップ後、⑨ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。

★ロスタイムがあるときは

減算計測中、⑧ボタンでストップ後、もう一度⑧ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。

⑧ → ⑧…ロスタイム…⑧ → タイムアップ

(以下、アナログ部省略)



### ■タイマー時間のセット

準備：⑩ボタンを押してタイマーモードにします。

- (1) ⑨ボタンを約1～2秒間押します

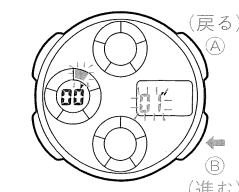
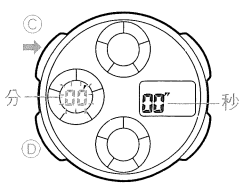
→タイマー時間の「分」が点滅します。

- (2) ⑩ボタンを押します

→⑩ボタンを押すごとに点滅箇所が「分→秒→分…」の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、⑩ボタンを押してセットしたい箇所を選びます。

- (3) ⑧または⑨ボタンを押します

→⑧ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、⑨ボタンを押すごとに数字が戻ります。  
※⑧・⑨ボタンとも押し続けると早く進みます。



上記(2)、(3)の操作を繰り返して、「タイマー時間」を合わせます。

※タイマー時間を60分にセットするときは、表示を“00”00”にします。

- (4) セットが終わりましたら、⑨ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。

### ■タイムアップになると

残り時間が0になる(タイムアップ)と10秒間電子音で報知します。

※電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※タイムアップの報知音は音色を変えることができます。

(「アラームの使い方」■モニターアラーム参照)

●自動復帰…タイマーモードのまま、1～2分間ボタン操作を行なわない(計測中は除く)と、自動的に時刻モードに戻ります。

# ストップウォッチの使い方

時刻モードのときに⑩ボタンを2回押すと、ストップウォッチモードになります。

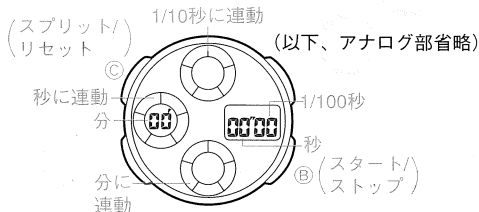
ストップウォッチは、1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。（計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます）

## ■計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

⑩ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします

→計測値に連動してグラフ表示が点灯／消灯を繰り返します。



★計測終了後⑪ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

★計測中に⑪ボタンを押すと、スプリット計測\*となります。もう一度⑪ボタンを押すとスプリットが解除されます。

\*スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。

※スプリット計測中に⑩ボタンを押してモード切り替えを行なうと、スプリットが解除されます。

## ●通常計測

⑩ → ⑩ → ⑪

スタート      ストップ      リセット

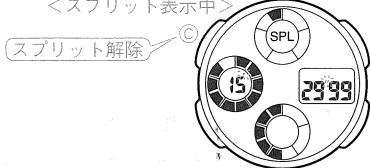
※積算計測…ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート（⑩ボタンを押す）すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

## ●スプリットタイム計測（途中経過時間計測）

⑩ → ⑪ → ⑪ → ⑩ → ⑪

スタート      スプリット      スプリット解除      ストップ      リセット

<スプリット表示中>



## ●1・2着同時計測

⑩ → ⑪ → ⑪ → ⑩ → ⑪ → ⑪

スタート      1着ゴール      2着ゴール      2着タイム表示      リセット

（1着タイム表示）

## 製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精度：平均月差±20秒以内

時刻表示：アナログ部…2針（時・分）

デジタル部…時刻表示～時・分、午前／午後（P）／24時間制表示    秒表示～秒

日付表示～曜日・日、フルオートカレンダー（1995～2039年）

アラーム機能：時刻アラーム3本    セット単位＝分    電子音＝20秒間時報    毎正時に電子音で報時

ストップウォッチ機能：計測単位＝1/100秒    計測範囲＝59分59秒99（60分計）  
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリットタイム計測、1・2着同時計測

タイマー機能：計測単位＝1/10秒    セット単位＝1秒  
セット範囲＝1秒～60分

タイムアップを10秒間の電子音で報知

その他：自動復帰機能、12／24時間制表示切り替え、報知音周波数切り替え、モニターアラーム、EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI

使用電池：時計用＝SR927W    ライト用＝SR626W

電池寿命：約3年（1日あたりライト2秒間、電子音を20秒間使用した場合）

## ご使用上の注意

防水性 ●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行わないでください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なバッキング交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド ●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度 ●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。

●+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック ●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。

●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気 ●（JIS 1 種耐磁時計）本機は磁気の影響を受けにくい構造をとってありますが、強い磁気が発生する器具に密着、あるいは近づけることはお避けください。強い磁気の影響を受けると一時的に進み遅れが生じることがあります。

薬品類 ●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

## ■お手入れについて

お手入れ ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れ ●「サビ」

を怠ると ●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。

※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。  
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」

・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」

・皮膚の弱い方や体調によりかぶれたりすることがあります。

・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

・特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

## ■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光商品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- ・長時間、直射日光に当てると、色あせする場合があります。
- ・長時間、濡れたままにしておくとか色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- ・長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくとか、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- ・プリントがしてある場合は、プリント部分を強くすると他の部分に色がつかうことがあります。

## ■電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗 ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 ●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行います。（防水検査は別途有料となります）

## ■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

## ■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。